

真庭市

真庭市成人式が1月13日、勝山文化センターで開催され、新成人414人が出席し成人を祝いました。式典では、太田市長や河野岡山県議会議員らが激励の言葉を贈り、新成人を代表し近藤大貴さん(惣)が「平成というひとつの時代の最後の成人式。この貴重な成人式を、愛すべき故郷真庭市で、最高の仲間と共に迎えられた事を、大変嬉しく思います。」とお礼の言葉を述べました。式典後には、実行委員会により、各中学校の恩師が出演するビデオレターを上映したほか、抽選会などが行われました。



真庭市新成人数
(H10.4.2~H11.4.1生まれ)

対象者	498人	・男258人 ・女240人
出席者	414人	・男215人 ・女199人

- ① 市民憲章を朗読する新成人代表の西本愛莉さん(下砦部)と金崎優斗さん(美甘)
- ②③ 式典中の会場の様子
- ④ 地区に分かれて記念撮影



平成31年

成人式



- ⑤ 実行委員会による抽選会
- ⑥ カメラに向かってハイチーズ
- ⑦ 実行委員会の皆さん
- ⑧ 当選して喜びの表情



謝辞

本日は私たちの門出に際し、この様な素晴らしい式典を挙げてくださった事を新成人を代表致しまして感謝申し上げます。先ほど真庭市長太田昇様をはじめ、ご来賓の方々からの激励のお言葉をいただき、我々新成人一同、新たに未来への希望と喜びを、心に刻むことができました。ありがとうございます。

さて、「真庭市成人式」は、2022年4月に成人年齢が18歳に引き下げられることに先立ち、来年度より「二十歳の集い」として開催され、成人式としては、今年度が最後になります。

また、「平成」というひとつの時代の最後の成人式。この貴重な成人式を、愛すべき故郷、真庭市で、最高の仲間と共に迎えられる事を、大変嬉しく思います。今日ここに、成人式を迎える事ができましたのも、これまで暖かく見守り、支えて育ててくださった家族・恩師・地域の方々：そして共に支え合い、分かち合った友人のお陰だと、改めて強く実感しております。

支えられる人間から支える人間へ。昨年は、50年に一度の未曾有の大災害が、日本各地を襲いました。岡山県も、甚大な被害を受けたひとつであります。今もなお、避難生活を余儀なくされている方々は沢山おられます。

ニユースでボランティアの活躍を見るたび、日本人は「助け合い」の精神に優れていると気付かれます。

私達も20歳というひとつの人生の節目を迎えましたが、これからも「助け合い」「思いやり」の信念を持ち、世のため人のためになるよう、真庭市に貢献できるようさらに飛躍してまいりますので、今後とも御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

平成、ひとつの時代の終焉、そして新時代の幕開け、新たな未来へ向かい我々は歩み続けます。

真庭市のさらなる発展を願い、これを持ちまして簡単ではございますが、新成人を代表致しましてお礼と感謝の言葉とさせていただきます。

平成31年1月13日

新成人代表 近藤大貴



高野恵輔さん(下中津井)
西本佑翔さん(上水田)



松本雅子さん(栗原)
中島涼花さん(上中津井)



東内咲樹さん(鹿田)



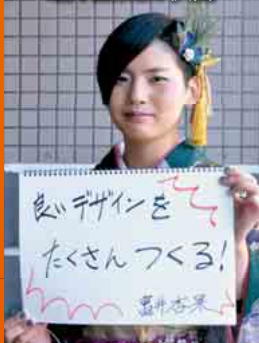
中江彩七さん(台金屋)



岩崎麻帆さん(中河内)
國年咲季さん(西河内)



亀井杏果さん(久世)



伊達朱里さん(組)



小堀彩加さん(久世)



高橋奈々恵さん(草加部)



太田 冴さん(久世)



横山 翔さん(鉄山)



井上大輔さん(美甘)



小野田光希さん(黒田)



藤井桃実さん(久見)
森廣麻衣さん(本庄)



前田亜衣莉さん(上市瀬)
川岡里穂さん(別所)



磯田天将さん(台金屋)



杉山 誠さん(久世)



森 洸大さん(蒜山東茅部)



大森梨穂さん(禾津)
島村菜々子さん(社)



杉山仁美さん(久世)



岡田佳奈さん(惣)



中山早季さん(上市瀬)



君たちの未来に幸あれ



新成人に聴きました 二十歳の抱負

未来に向かって



ご協力ありがとうございました

成人式の会場で、新成人の皆さんに「二十歳の抱負」を伺いました。50人にご協力いただき、皆さんの熱い想いを書いていただきました。ご協力ありがとうございました。

広報真庭 スタッフ一同



祭りで育む地元愛

笠原大樹さんと近藤大貴さんは久世祭りで同じ「惣高社」に所属。さらに同じ職場で働く仲間です。2人に地元愛について聞きました。

2人は同じ職場で働いてますよね。職場はどんな感じですか。

近藤…飲食店「まにわ家」で、僕はホール、大樹は厨房で働いています。ホテルと併設している居酒屋なので、県外のお客様も多いですね。

笠原…お店の名前も「まにわ家」ですし、できるだけ真庭のものを食べてほしいと思う



厨房とホールで力を合わせ働く

て、お店では地元の食材を積極的に使っています。日本酒は地酒しか置いていません。

社会人になって感じる高校時代との違いという点ではどうでしょうか。

笠原…大違いですね。

近藤…高校の時は、物事を人に言われるがままにしていたが、今では自分で考え、自分で行動を起こさないと行けなくなりました。インスタグラムなどを活用してお店のPRを企画するなど、いろいろと自分たちで工夫しながら働いています。

市外で暮らしてみたいと思ったことはないですか。

近藤…今のところないですね。僕たちが地元志向なのは、久世祭りの存在が大きいと思います。2人とも「惣高社」に

思うこと

若者たちは地元に対してどのような思いを抱いているのでしょうか。今年の成人式実行委員会で活躍された新成人の中から、4人の人に「ふるさと真庭市」について話を聞きました。

思い出の河川敷

小坂玲美利さんと手島つくしさんは、小学校からずっと一緒に過ごしてきた幼馴染です。2人が共有する地元の思い出について教えてもらいました。

2人は子どもの頃からの友達ですね。

小坂…小学校から一緒。中学校吹奏楽部でも一緒。勝山高校ビジネス科でも一緒。就職も地元で一緒です。何かしら一緒にいます。

手島…なんだかんだで成人式実行委員会でも一緒でした。

市内に2人の思い出の場所などあれば教えてください。



高校時代に撮影した河川敷での1枚



(写真左から)

成人式実行委員 小坂玲美利さん(本郷)

成人式実行委員 手島つくしさん(勝山)

勝山小学校、勝山中学校、勝山高等学校と一緒に過ごしてきた2人。現在は、就職し真庭市内で働いています。

所属しているのですが、祭りを通じて人と人とのつながりというものを学んできたような気がします。

笠原…うん。やっぱり久世は良いまちだと思っています。

近藤…真庭にはネオン街みたいなものはないのですが、そこが良いところでもあります。僕たちはここで生まれて、ここで育ってきました。先輩たちから教わったことを次の世代に伝えていかなければいけません。

2人は成人式の実行委員、特に笠原さんは実行委員長を務めたのですが、参加の動機を教えてください。

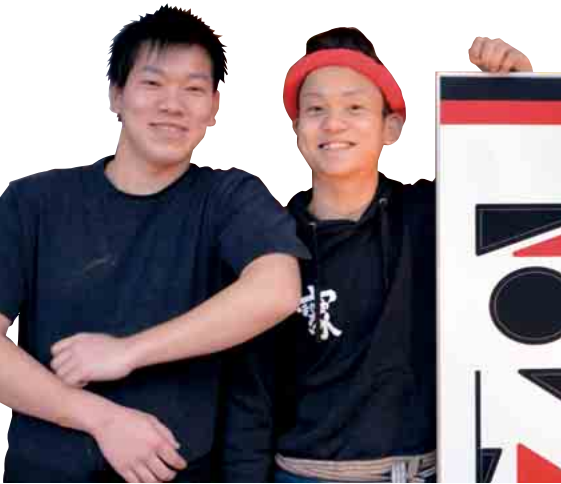


当日の会場を盛り上げる

近藤…やっぱり、「真庭を背負うのは僕たちだ」という意識込みですね。

笠原…だとすれば委員長は当然、自分だろうと。

近藤…将来、いろいろなために顔を覚えてもらって、子どもたちからおじいちゃんおばあちゃんまで、「大樹くん」「大貴くん」と親しみを持って呼んでもらえるような、まあの「顔」になっていきたいと思っています。



(写真左から)

成人式実行委員長 笠原大樹さん(多田)

成人式実行委員 近藤大貴さん(惣)

飲食店「まにわ家」で楽しく働く久世中学校出身の2人。Instagramやフェイスブックでお店や真庭市の魅力を発信中。



Instagram QRコード

ハタチ ふるさと真庭で



勝山には2人の思い出がいっぱい

手島…高校時代は、勉強の合間など、ことあるごとに学校の近くの旭川河川敷に行っていました。文化センターから駅寄りの広くなっている所なんですけど。みんなではしゃいだり、いろいろ語り合ったりとか。

染織工房」の加納さんが手作りしたもののなんです。着付けはお向かいさんにしてもらって、ヘアセットは母。ご近所で成人式の準備をしてもらいました。

小坂…私は以前から通っている「ウイング」という美容院で用意してもらいました。

真庭に住んでいて良かったと感じるのはどんな時ですか。

小坂…青春の場所ですね。手島…あの河川敷で過ごした時間は長かったです。

小坂…勝山図書館にも試験勉強などでよく行きました。

小坂…答えになっていないかもしれませんが、みんなが帰省してくる時がすごく嬉しいです。地元に残っている人が少なく、お正月やお盆、それこそ成人式などの機会に市外に出ている人たちが帰省してくるのが楽しみになりました。集まってみんなでご飯を食べたり、話をしたり。「まにわ家」にもよく行きます。

手島…私が成人式に着ていた振袖は、勝山の「ひのき草木

手島…市外に出ている友達の手へ遊びに行く楽しみができました。また、いつか自分たちが母親になったときに、同級生たちとママ友になるのが楽しみです。そういうときがいつか来るのかな。里帰り出産とかする友達がいたら会いに行きたいですね。

共に成長した20年

新成人の皆さん。おめでとうございます。通学時に当店に立ち寄ってくれていた学生の中にも、この度二十歳を迎えられた人もいらっしゃるかと思います。

私たちの長男も二十歳です。ひとつひとつの思い出を振り返ってみると20年の間にいろいろなことがありました。大変なこともありましたが、どれも良い思い出です。長かったような気がしますし、あっという間だったという感じもあります。

息子は小学生の頃から野球を頑張っていたのですが、高校2年の夏に病気で手術をすることになりました。心配し



高山善守さん 美智子さん(西原)

落合地域でパン屋を営むご夫婦。今年成人式を迎えられ、実行委員も務めた高山敦行さんのご両親。

たのですが、退院した後、春にはレギュラーとして元気にグラウンドに立つ姿を見せてくれました。

私たちもこの20年間、我が子を通じて、いろいろなことを経験したり、親同士の絆を育んできたり、親として成長できたのではないかなと思っています。「あの時あすればよかった」「こうすればよかった」と思うこともありますけどね。

二十歳の皆さんはまだまだたくさん可能性を持っています。失敗するんじゃないかと恐れないうで、夢に向かっていってください。

その際に、人に感謝し、相手を思いやる気持ちも忘れないでくださいね。

ハタチの君たちへ

二十歳の皆さんへ、まちの先輩たちからのメッセージをいただきました。

田舎での挑戦は面白い

私は関西で就職していたのですが、ある出会いを契機に「今、帰らないと後悔するかもしれない」「自分の居たい場所に居てみよう」と思い、真庭に帰ってきました。

大阪のバーで仕事をしていた時期もあり、「場」を作るということに興味がありました。バーは、悩みを抱えた人や、もやもやしている人たちが「いつでも帰ってこれる場所」です。それを田舎でやってみるということが面白いと思っています。

真庭の人たちと関わりを持つようになり、そうした中でできた友人と2人でnóomという屋号で出張バーを始めることができました。なかなか「自分のしたいこ



イベントでカクテルを作る中島さん

と」を見つけている人ができています。でも、一生それをしなくてもいいので、「やってみたい」「居てみたい」という気軽な考え方で挑戦してみたらいいのではないのでしょうか。

私の場合は、「やりたい」「やってみたい」と言っていたら協力してくれる人が現れました。思っていることを口に出すことも大事です。



中島由貴さん(勝山)

北房中学校出身。26歳。平成30年4月に真庭市にUターン。本業のかたわら友人と2人で出張バーnóomを運営。

真庭の「ちがい」を 食べる週末

真庭

コントラスト

ホリデイ

2.9 [sat] 2.11 [mon] & 3.9 [sat]

真庭市から二十歳の皆さんへ

真庭の可能性を探るための新しいイベント「真庭コントラストホリデイ」を企画しました。二十歳の皆さんもぜひとも足を運んでみてください。もちろん、二十歳ではない人も参加できます。あなたの知らない「真庭」がきっと見つかるはずです。

問 秘書広報課 金田 TEL0867-42-1163 (FAX1353)

2.9 [sat] 授業・給食



学校給食で 味わう今と昔

- presented by まにワッショイ -

昔なつかしい校舎で、元給食調理員が地産地消の給食を提供します。給食の前には特別授業を実施。食の豊かさについてみんなで考える体験型イベント。

【時間】 11:30~15:00

【参加費】 1000円

【場所】 旧道南尋常小学校
(岡山県真庭市鍋屋17-1)

要予約

2.10 [sun] 交流イベント



TABIBITO SHOKUDO

- 世界のカレー、真庭のお米と恋に落ちる -

- presented by TABIBITO SHOKUDO -

外国人旅行者が出身地のカレーを振る舞う。参加者は真庭産のお米に世界各国のカレーをかけて、味の「ちがい」とマリアージュを楽しめる、交流イベント。

【時間】 17:00~19:00

【参加費】 1000円 (食べ放題 & ドリンク付き)

【場所】 Pizza Borsalino
(岡山県真庭市久世2669-4)

要予約

2.11 [mon] ワークショップ



真庭のちがいを伝える メニューコンテスト

- presented by 地域学生団体ゆーまにわ -

真庭の中にある個性豊かな各地域。その「ちがい」に着目し、ちがいを伝えるメニューをチームで開発するコンテスト。

【時間】 14:00~17:30

【参加費】 無料

【場所】 落合総合センター 調理室
(岡山県真庭市落合垂水618)

要予約

3.9 [sat] ワークショップ



「ちがい」で 「みらい」をつくる 郷土料理ラボ

真庭市民・外国人・移住者など、食の文化背景がそれぞれちがうチームで、みらいの郷土料理を開発するワークショップ。

【時間】 13:00~17:30

【参加費】 無料

【場所】 落合総合センター 調理室
(岡山県真庭市落合垂水618)

要予約